

四街道市青少年育成センターだより

一期一会

令和 4 年 9 月 1 2 日 第 2 6 5 号
四街道市青少年育成センター発行
四街道市鹿渡 2 0 0 1 - 1 1
電話 0 4 3 - 4 2 1 - 7 8 6 7
F A X 0 4 3 - 4 2 1 - 7 8 7 1
E-mail yseishonen@city.yotsukaido.chiba.jp

今を生きる私たちと未来

千葉県立四街道北高等学校
生徒会長 三浦 姫菜

広島、長崎への原爆投下から77年たった今、ウクライナでは戦争が行われています。私は修学旅行で広島にある平和記念公園に行きました。その際、たくさんの資料と残された建物を見て、戦争の悲惨さを間近で感じました。あまりの衝撃に写真すら撮ることができなかったことを覚えています。もし、自分がその時代に生きていたら、と想像するだけで怖いです。ウクライナの人々も避難先で恐怖におびえながら過ごしている人もいます。その中には友人や家族を亡くし悲しんでいる人もたくさんいると思います。

今の日本には、憲法第9条（戦争の放棄・戦力不保持・交戦権の否認）そして非核三原則（持たず・つくりず・持ち込ませず）があります。そのため、戦争が起きることなど想像することができません。しかし、世界では未だ紛争や内戦、戦争が行われている国や地域があります。私たちが住む国には関係ないからでは済まない話なのだと、ニュースやテレビ報道を見た時に感じました。戦争を経験した人が減り、戦争を知らない人が増えていく世の中で、悲惨さを代々語り継ぐ必要があるとより強く思いました。

現在の私たちは学校の授業や前述した修学旅行等の研修で戦争を学ぶ機会は多くあります。一方世界に目を向けると、戦争の為に学校にいけない子どもたち、学校で学ぶ機会を与えられないまま大人になった人も多くいると思います。そのような「戦争に対する意識」の差が大きい世界の状況の中でも、私たち日本の高校生が今できることは何かを考えてみました。一つは今まで学んだことをもとに「戦争の悲惨さを語り継ぐこと」さらに、身近なニュース報道やインターネットを通じて機会があれば「戦争の歴史や実態について考えること」、そして「仲間と戦争と平和について語ること」この三つは今の高校生にもできるのではないかと思います。動かなければ何も変わりません。戦争のない明るい未来のために行動していこうと思います。

ウクライナの方々が一日でも早く不安のない暮らしができる日が来るためにも、戦争で亡くなった方々のためにも、同じ地球に住む一人ひとりが「今、私にできること」を考えることができたらと思います。そして、私もできることは何かを自身に問いてこの文を書いたので、私の願いがこの文を読んでもくださった方々の心に届いたらと思います。

私たちの後を生きる多くの子供たちが笑顔で安心して暮らせる未来を、今を生きる私たちでつくっていったらいいなと思います。

当センターでは子どもと保護者の悩み相談を受け付けています

四街道市青少年育成センター (月)～(金) 9:00～17:00

相談専用電話 043-423-0066 いじめ相談フリーダイヤル 0120-423-006

青少年育成センターへは市役所第二庁舎からも裏側通用口を利用して入ることもできます

◎ 「一期一会」は、市ホームページにも掲載してあります。青少年育成センターのページからご覧ください。

四街道市小中学校生徒指導担当者会議

夏季休業中の8月22日に、第2回四街道市小中学校生徒指導担当者会議が開催されました。この会議は、四街道市教育委員会と四街道市教育研究会生徒指導部との共催で、生徒指導研修会も兼ねています。

会議の前半は、四街道市青少年育成センターのスクールソーシャルワーカー久保由佳さんを講師に迎え、「職員室で使える人間関係ツールとは？」と題して、市内小中学校の生徒指導担当者の研修会を開催しました。研修会の目的は、DiSC[®]理論をもとに、生徒指導を担当する職員自らのスタイルを知り、校内の人間関係を上手に築いていくヒントを探ることです。

自分自身の態度や話し方・ペース、さらには価値観と動機づけを理解した上で、相手の動機や価値観を理解することで、相互の理解が深まり、組織のチーム力の向上や、職場のコミュニケーションの活性化を図ることができます。

小中学校の生徒指導担当者は、学校における生徒指導を組織的・計画的に運営するために、校内の連絡・調整を図るとともに、生徒指導に関する専門的事項の担当者として、校内の教員に対して、指導・助言を行います。また、必要に応じて子どもや家庭、関係機関に働きかけ、問題解決にあたることもあります。このことから、生徒指導担当者個人の資質の向上は、校内の組織力の向上に必要な要素です。今回の研修を通して、市内の学校における生徒指導が、組織として機能し実践されることを期待しています。

会議の後半では、教育委員会からの連絡のあと、中学校区ごとに分かれ、情報交換が行われました。それぞれの学校の1学期の様子と合わせ、各学校の教育相談体制について報告し合い、2学期からの取り組みの参考とすることができました。

なかでも、多くの学校からSNSに関する事案が報告され、その対応に苦慮している様子が見られました。今後も家庭や関係機関と連携を図りながら、SNS等の付き合い方について、継続的に子どもたちに働きかける必要があります。



四街道市中学校・保護司会 情報交換会

中学校の生徒指導担当者と四街道市の保護司との情報交換会が行われ、学校や生徒の状況について、学校と保護司との共通理解を図りました。

学校と保護司とは、立場は違いますが、「青少年の健全な育成を目指す」という共通の目的があります。

これからも連携を図りながら、それぞれの活動に取り組んでいきたいと思っております。



○8月の相談活動（34件）

電話	8	来所	26	訪問	0
----	---	----	----	----	---

○8月の不審者情報（0件）

不審者情報はありませんでしたが、引き続き、子どもたちの見守りにご協力をお願いします。

○10月の街頭補導予定（14回）

4日(火)A	6日(木)F	7日(金)D	11日(火)C	13日(木)D	14日(金)B	17日(月)B
18日(火)F	19日(水)D	21日(金)E	24日(月)C	25日(火)C	27日(木)B	31日(月)E

A 7:30-8:30 B 10:00-11:00 C 14:30 - 15:30 D 16:30-17:30 E 17:30-18:30 F 18:30-19:30